

(再評価)

資料3-3(1)

# 河川事業

確認結果

## 再評価原案準備書説明資料(案)

と かし  
十勝川直轄河川改修事業

令和3年度  
北海道開発局

- ◇十勝川直轄河川改修事業の総便益 **確認後：8,410**
- ⑤便益（洪水被害） **8,415億円** --治水経済調査マニュアル（案）より算出、現在価値化
  - ⑥便益（残存価値） 45億円 --治水経済調査マニュアル（案）より算出、現在価値化

⑦総便益【B】 **8,460億円**（現在価値化） --⑦=⑤+⑥

### 事業全体

- ◆費用便益費（B/C） **8,460億円** / 1,814億円 = 4.7
  - ◆純現在価値（B-C） **8,460億円** - 1,814億円 = **6,646億円** **確認後：6,641**
  - ◆経済的内部収益率（EIRR） 28.8%
- ※算出条件 整備期間：平成22年度～令和20年度（29年間） 評価対象期間：平成22年度～令和70年度（整備期間+50年間）

確認後：8,455

### 残事業

- ◆費用便益費（B/C） **1,758億円** / 664億円 = 2.7
- ※算出条件 整備期間：令和4年度～令和20年度（17年間） 評価対象期間：令和4年度～令和70年度（整備期間+50年間）

確認後：1,757

### 当面整備

- ◆費用便益費（B/C） 1,028億円 / 191億円 = 5.4
- ※算出条件 整備期間：令和4年度～令和7年度（4年間） 評価対象期間：令和4年度～令和57年度（整備期間+50年間）

### 感度分析

	感度分析	残事業のB/C	事業全体のB/C
◆事業費	(+10%~-10%)	(2.5~3.0)	(4.5~4.8)
◆工期	(-10%~+10%)	(2.7~2.8)	(4.6~4.7)
◆資産	(-10%~+10%)	(2.5~3.0)	(4.2~5.1)

※B/C算定に用いている総費用及び総便益については、消費税相当額を控除しています。